

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
中国語 I Chinese I		1年	前期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	演習	選択	(特になし)	中国語を母国語とする学生は履修禁止。
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
特になし				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
中国語 II				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
鈴木 愛勇	授業中に指示します。	授業中に指示します。		授業中に指示します
授業の概要				
中国語を学習する上で最も重要なのは“発音”である。基礎的な文法、語順等の学習に加え、中国語でコミュニケーションをとりながら授業を行う。会話力・表現力を向上させるために、日常のさまざまな場面を想定した会話文を学習する。				
授業の目標				
①中国の一般市民の日常的な会話を理解できるようにする。 ②中国語の発音ができるようにする。 ③基本的な文法を用いて、短文を作成できるようにする。				
授業の方法				
発音・会話・短文作りを反復して練習する。テキストの内容を聞き、読み、暗唱することにより、発音（特に声調）を身につける。				
学習の成果（学習成果）				
①中国の一般市民の日常的な会話が理解できる。 ②中国語の発音ができる。 ③基本的な文法を用いて、短文を作成ができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス：自己紹介、注意事項、授業の流れ等についての説明			
第2回目	拼音（ピンイン）練習			
第3回目	拼音（ピンイン）練習			
第4回目	単語練習（意味、読み方、使う場面、繁体字と簡体字）			
第5回目	単語練習（意味、読み方、使う場面、繁体字と簡体字）例文を交えて			
第6回目	単語練習（意味、読み方、使う場面、繁体字と簡体字）単語小テスト			

第7回目	基礎文法：例を上げて説明	
第8回目	基礎文法：例を上げて説明	
第9回目	発音練習、語句作成、グループコミュニケーション、中国語で自己紹介	
第10回目	発音練習、語句作成、グループコミュニケーション	
第11回目	会話練習、語句作成、グループコミュニケーション	
第12回目	会話音練習、語句作成、グループコミュニケーション	
第13回目	会話練習、語句作成、グループコミュニケーション	
第14回目	3分スピーチ試験準備	
第15回目	3分スピーチ試験	
事前・事後学習	予習、復習を行う。上手に発音を行うには声を出して練習する。わからないものはまず自分で一度調べる。	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	20%	授業に積極的に取り組み、必要なことはノートに記入している。
レポート		
調査報告書		
小テスト		
試験	50%	期末試験の成績によって判断する。
発表内容（態度含む）	30%	授業内で自己紹介等を含めた内容で3分間お話をを行う。
その他		
教科書と参考図書		
授業中プリント配布		
履修上の留意点・ルール		
●実務経験（特になし） 遅刻厳禁		